草加八潮地域連携呼吸器研究会(SYRC-R:シルク・アール)

### 事務局:草加八潮医師会

〒340-0018 草加市中央1-5-22 TEL 048-928-8760 FAX 048-924-7180

代表世話人・会計:高木 寛

(草加八潮医師会学術担当理事・高木クリニック)

世話人:加藤 貴紀

(かとうファミリークリニック)

平田 大介

(平田クリニック) 広報・編集: 新 謙一

(草加市立病院・東京医科歯科大学臨床教授)

看護·介護部門世話人

花木 美穂子

(わーくわっく草加)

須鴨 義夫

(一正堂薬局第二支店)

村瀬 妙子

(訪問看護ステーション氷川)

新 智美

(草加市立病院看護部

国際医療福祉大学院保健医療学看護学分野

看護管理開発学領域修士課程専攻)

監査:草加八潮医師会事務局

会報著作・製作:新 謙一

SYRC-Rは草加八潮の周辺地域からのご参加も歓迎致します

山川治先生が代表のNPO法人「群馬摂食・嚥下研究会」の ホームページは、http://studygroup.kai-dental.ip/ でご覧いただけます。

### シルク・アール: 質の高 い滑らかな地域連携に!

草加八潮地域連携呼吸器研究会 (英名: <u>S</u>oka-<u>Y</u>ashio <u>R</u>egional Conference of Respiratory Disease) は頭文字をとりSYRC-Rと 表記し、「シルク・アール」と発 音します。絹(シルク)の様に質 の高い滑らかな連携がある(アー ル)ことを目指しての語呂合わせ のネーミングです。

名前負けしないように継続発展さ せていきたいと考えています。

皆様のご理解とご協力を何卒よろ しくお願い申し上げます。





当研究会の目的 当研究会の実績 講演会の予定

フォーラム

リンク集 ・ 日間適企業・日本へのリンク他、飲み込みの 時書のある人でも対応してくれるホテル・放 値・レストランのご紹介

### 草加市立病院呼吸器科は紹介予約制、木曜外来を再開

草加市立病院呼吸器専門外来は紹介予約制 うにお願いしております。現状では予約がな を原則としています。COPDや肺癌を始め、 気管支喘息、肺炎など多彩な疾患を診療して ており患者さんにご迷惑がかかります。 います。事前に、当院にある資料を準備し、 電子カルテではないので以前のカルテを探し 出し、外来前日にカルテを予習して、複雑な 管理を要し疾患が進行した患者さんや紹介患 者さんへの質の高い診療を心がけています。 その為お一人お一人にかなりの時間がかかり

患者さんには、ご地元の先生(クリニッ ク・診療所など)に先に受診してご相談いた のご予約(事前資料準備の為)をして頂くよ 代表)

い場合に診察開始まで3時間以上お待たせし

当科受診時は紹介元の先生からの紹介状態 レントゲンなどのほかに、患者ご自身がお持 ちのお薬手帳や過去の健康診断の結果なども ご持参頂けると大変参考になります。

女性医師が1年間の出産育児休暇から本日 12月1日に復帰し、木曜日の呼吸器外来が再 開します。ご協力有難うございました。

なお、急患には個別に対応しますので内科 系外来(時間外は救急外来)または地域医療 だき、必要に応じて地域医療連携室を介して 連携室までご連絡下さい(TEL048-946-2200



外来前日にカルテを「予習」して診察しています

# 草加八潮地域連携呼吸器研究会(SYRC-R)



### ハイライト:

スキルミクスとは多能性と訳され る職種専門性を超えた職務遂行の 概念で、Disease management (疾病管理) の手法と組み合 わせて慢性疾患早期管理において 今後の日本の医療の道筋の一つと して注目されています。3年目の COPD連携パスでは課題も徐々に 明らかになり、地域の皆さんと効 率的に管理する手法の概容が見え つつあります。更に今回は冬を前 にして高齢者の肺炎予防に重要な 摂食・嚥下障害にスポットを当て ます。

### 目次:

部門世話人ごあいさつ p1

第19回日本呼吸ケア・リハビリ P2 テーション学会報告

ワークショップに招待 一般演題も発表

呼吸ケア/COPD認定看護師(仮 p2 称)の養成が2011年春にも開始

講演:呼吸と嚥下障害 ~COPD急性増悪時を含めて

CT冠動脈造影でCOPD地域連 p3 携パス関連症例の虚血性心疾患 スクリーニング開始へ

SYRC-Rは医師会運営に p3

草加市立病院呼吸器科より p4

# 「医療系大学院から見たSYRC-R」



新(あたらし) 智美

草加市立病院外来看護師 国際医療福祉大学院保健医療学看護 学分野看護管理開発学領域修士課程 SYRC-R部門世話人

### 医療福祉の多彩なエキスパートを育てる

# 💿 国際医療福祉大学大学院



顔の見える連携の無限の可能性を予感して...

私は今年(2009年4月)から国際医療福祉 大学大学院で学ぶ機会を頂きました。一重に 皆さまのご支援とご協力の賜物と感謝してお ります。私が進学を決意したのは、一人一人 の患者さんに主体的にじっくり関わりたいと 考え、NP(ナースプラクティショナー)分野が 大分に次いで全国で 2 番目に開講することを 知ったからです。実際に入学すると糖尿病と 高血圧に特化した教育カリキュラムでしたの で呼吸器のスキルが生かせないことと、地域 連携や看護師の職能向上を専門とする看護管 理開発学領域が SYRC-R の活動を学問的に高め る上で有用と考え、後期から分野変更をしま した。

現在大学院では医療の効率化(スキルミク ス: skill-mix)、地域連携のシステム、医 療と福祉の連携、福祉組織論、看護管理・開 発学を学んでおります。この大学院は多彩な 経歴をもつ教授陣(旧厚生省官僚やジャーナ リストもいます)や先進的な講師陣を招き授 業を構成しています。政府の政策として出さ れた「健康 21」では、2000 年からの 10 年間 計画で 21 世紀における国民健康づくりの課題 について、たばこ、アルコール、歯の健康な ど 9 分野の目標を出しました。そして 2007 年 4 月の第 5 次医療法改正では地域連携を推 進し在宅医療の充実を図り、良質な医療を効 率よく提供する方針を示しました。しかし、 地域連携の効果は医療と福祉の連携を充実し

てこそ実現可能ですが、厚労省は具体的な方 法を示していません。

SYRC-R は 2007 年 6 月に発足しました。医 療と福祉の連携の必要性を形にした新しい取 り組みで、当時は政策の中身など全く意識を していませんでしたが、厚労省が政策として 掲げた概念を現実のモデルにしたものが SYRC -R であることを大学院の講義の中で知り、実 に驚きました。SYRC-R の活動について「この 取り組みのいいところはお金をかけずに連携 システムを構築しているところです。有志が 手弁当でやっていて、どこでも出来る、私達 にも出来ると勇気を与えてくれる取り組みで す。」との声を頂いています。ある患者さん は SYRC-R 連携手帳を持って自分でかかりつけ 歯科医を受診し、入れ歯の調整をして薬剤吸 入時の不具合を解決し、手帳に歯科医コメン トを記入してもらうという「患者による自主 的な新規連携構築」までやってみせました。

今求められるのは「変われる力」「新しい ものを受け入れる力」です。疾患や業種や立 場(それが患者自身であっても…)を超えて 社会と患者の変化に適応し進化する顔の見え る連携で、地域医療と福祉の最適化と効率化 を進めて、無限の可能性をみんなで共有して みませんか。

# 第19回

# 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会

The 19th Annual Meeting of Japan Society for Respiratory Care and Rehabilitation

## 学会ワークショップで講演

10月30~31日に開催された第19回 日本呼吸ケア・リハビリテーショ ン学会よりSYRC-RのCOPD地域 連携クリニカルパスについて講演 依頼があり。ワークショップで発 表してきました。



## 日本専門医制評価 · 認定機構

- 基本領域学会
- 内科学会 総合内科専門医 13.684名 ■ 日本小児科学会 小児科専門医 12,354名
- 日本産婦人科学会 産婦人科専門医 12,025名
- Subspecialityの学会
- 日本消化器病学会 消化器病専門医 14.657名
- 日本循環器学会 循環器専門医 10,354名 ■ 日本呼吸器学会 呼吸器専門医 3.580名

### テーマ: 患者教育の充実を目指して

- 会期 2009年10月30日金・31日生 会場 品川プリンスホテル
- 会 長 木田 厚瑞

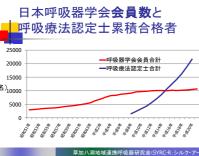


### 一般演題:地域連携とスキルミクスナースの役割

2年間のSYRC-R関連症例154例について COPDのI~Ⅲ期の初期指導の分析と、全国 のCOPD診療エキスパート医師124名に実施し たアンケートを発表しました。

この10年で呼吸器学会会員、つまり呼吸器 医は全国で1万人のまま停滞してますが、呼 吸療法認定士は着実に増加し、今学会のテー マの「患者教育の充実」に果たす役割の増大

が求められています。呼吸器医師不足のなか で呼吸器スキルミクスナースに求める全国の エキスパート医師の要望を明確にした上で、 早ければ2011年春から養成が始まる呼吸器認 定看護師に求められるスキルをデータにて示 しました(昨年受賞した優秀賞に今回もノミ ネートされましたが、今年は惜しくも受賞に は至りませんでした)。





# いよいよ呼吸ケア/COPD認定看護師(仮称)の養成へ

## 呼吸ケア/COPD認定看護師(仮称) 教育目的

- 1. 慢性閉塞性肺疾患(COPD)をはじめとする慢性呼吸器 疾患(肺腫瘍を除く)患者とその家族のQOLの維持と向上を 目指して、慢性安定期、急性増悪期、終末期において、熟 練した知識と技術をもち、水準の高い看護を実践する能力 を育成する。
- 2. 呼吸ケアにおける専門的な実践力を発揮し、看護職が 関わる問題を解決するためにコンサルテーションを受け指 導を行い、チーム医療活動および在宅医療・訪問看護活動 を推進できる能力を育成する。
- 3. 呼吸ケア分野において優れた実践を積み重ね、この分 野におけるリーダーシップを発揮し、看護の質の向上に寄 与する能力を養う。

草加八潮地域連携呼吸器研究会(SYRC-R:シルク・アー)



第19回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会にて福井大学の石崎武 志教授と兵庫医療大学看護学部の土居洋子教授の座長で、2011年春か ら開始が予定される呼吸器領域で初めての認定看護師コースについ て、教育目的、教員の確保、カリキュラム、課題などについて紹介さ れました。日本看護協会の20番目の領域となる認定看護師ですが、単 に看護の質向上を掲げただけでは厚労省は保険点数で評価しない可能 性が高く、COPDのDisease Managementの実践でコストパフォーマン スを実証するために、我々もエビデンスの創出に努力する決意です。

### 講演:呼吸と嚥下障害 前橋赤十字病院 摄食・嚥下・胃瘻外来 |

# 高齢者の口腔衛生向上は肺炎予防の重要な鍵 嚥下障害を見極め、医科歯科連携で予防医療を

呼吸器の入院診療を長年していて感じるこ とは、「入院直前まで、ちゃんと食べられ て、日常生活が自分でできていた患者さんは 良く治る」ということです。逆に私達が苦労 するのは「食べることに何らかの障害」を抱 えている患者さんです。

草加市立病院では2005年からNST(栄養サ ポートチーム)が歯科口腔外科と呼吸器科で 限定的活動を開始し、2007年より全科型に移 行しました。初代のNST委員会のリーダーは 歯科口腔外科部長(現在山形大学歯科口腔外 科教授)の飯野光喜先生でした。その後、越 谷市のリハビリテーション天草病院から週1 回言語療法士(ST)が派遣され、摂食・嚥下 障害に力を入れて活動していますが、飯野先 生のご栄転に伴い、呼吸器科の新が活動を引 き継ぎ、呼吸器科と歯科口腔外科の協力を院 内で進め、私の知る限り東京医科歯科大学呼 吸器内科の関連病院の中で最も医科歯科連携 のとれた病院となっています。

NSTは病気の治癒力を高め、患者さんの QOLの向上・維持はもとより、医療費の節約 にもなります。この取り組みを病院内だけで なく、地域と連携して行うことで地域医療の 充実を図る取り組みが全国で模索されてきて います。今回は各種地域連携で先進的取り組 みをされている前橋赤十字病院より摂食・嚥 下・胃瘻外来の山川治先生をお招きして高齢 者・COPD患者さんの管理に役立つお話をし ていただきます。

# 今年COPD地域連携3年目で2例続けて狭心症を発症 虚血性心疾患のスクリーニングを年明けに開始 ~まず冠動脈の石灰化がある70歳以下を対象に~

これまで治療介入しても手応えがなかった COPD 診療に関する大規模臨床研究が、薬物療 法により病気の経過を変えうることを証明 し、患者さんの将来に光が見えてきました。 しかし詳細な解析により COPD の患者さんにお ける死亡リスクの増大には、社会的要因(年 齢および出身地域)および生物学的要因(肺 機能、COPD 増悪の経験、心筋梗塞歴、BMI(栄 養状態)の低さ)の両者が関連していることが 示されました。

COPDガイドラインでもCOPD初期から禁 煙・インフルエンザワクチンと並んで、併存 疾患の管理が必要としています。呼吸器疾患 そのものの次に心血管イベントで亡くなる方

が多いこと、今回の狭心症症例には冠動脈石 灰化があり事前にハイリスクの患者を予測で きる可能性が十分あることから、心筋梗塞で 亡くなる患者さんを出さない取り組みが必要 です。心臓カテーテル検査はリスクやコスト が高く、入院を要するため提案しにくいので すが、CTは比較的安全で安価に外来でできま す。そこで、冠動脈の石灰化が検出される症 例に関して近隣施設にお願いしてプロトコー ルを定めて冠動脈CT造影(CTA)を施行し、 75%以上の冠動脈狭窄が疑われる場合に心臓 カテーテル検査を提案する取り組みを始めま す。倫理的な課題も含めて皆さんのご意見を 頂戴したいと思います。

### 草加八潮地域連携呼吸器研究会は草加八潮医師会の運営に



SYRC-R代表世話人·草加八潮医師 会学術担当理事・高木クリニック 高木 寛

従来、有志の集まりでしたSYRC-Rは、世話人会において協議 した結果、草加八潮医師会に運営していただけることになりまし た。2007年の第5次医療法改正に伴い厚労省は、地域連携クリ ティカルパスの普及を通じ、医療機能の分化・連携を推進し、切 れ目のない医療を提供することで、早期に在宅生活に復帰できる よう在宅医療の充実を図り、「良質な医療を効率よく提供する」 方針を示しています。厚労省の連携推進事業における呼吸器領域 のパイオニアとしてSYRC-Rは厚労省にも活動情報が提供され、 各方面からも注目を集めています。地域医療に携わる多職種の 方々のご協力・ご参加を引き続き宜しくお願いいたします。



山川治先生著(経営書院) ISBN4-87913-967-X

COPD患者に おいて呼吸器 疾患での死亡 は35%に過ぎ ない

心血管系に起ぐ 因する死亡は 27%

・悪性腫瘍は



近隣施設の64列CTにて心電図同期をして 造影すると、冠動脈がCTで評価できる

